

岩 手 県

岩手県公立学校退職校長会

設立 昭和40年10月23日

本会は昭和40年に結成され、平成27年に50周年を迎え、去る9月11日、サンセール盛岡を会場として記念式典を挙行之、記念誌を発行した。

1 研修と親睦を重視した活動

本会は結成当初から研修活動を重視し併せて親睦の会を行ってきた。全県の研修・親睦会は年1回の開催で、1泊2日の日程で県内16の地区会の一つを主管地区会として、ローテーションで回る。現在3巡目で、昨年は岩手県最北端の二戸地区会の主管で「第41回研修・親睦会」が持たれた。主題は「自然と生きた縄文人とその文化」で、二日目の御所野遺跡の視察と共に250名の参加者には好評であった。また、地区会を六つのブロックに分け、毎年交代で2箇所ずつ開催するブロック研修会がある。近隣地区会との交流・交歓を狙いとしたもので、昨年は県央南部と沿岸南部のブロックで持たれた。それぞれ地区の特性を活かした主題で学び、懇親が深められた。

現職校長会との教育懇談会は年1回。昨年は東日本大震災沿岸被災地の校長からの話題提供をもとに話し合わせ、学校経営上のリスク管理等、思いもかけぬ多くのことを学んだ。

2 東日本大震災とその対応

平成23年3月11日に発生した大地震と、それに伴う大津波は東北地方の太平洋沿岸部を襲い壊滅的な被害をもたらした。岩手の場合、会員の被害としては、16名の尊い命を失い、住居の流失、全壊、半壊、一部損壊等の被害にあった者80名、配偶者や一親等の親や子を失った者6名だった。勿論、会員の兄弟姉妹や親類の被災も含めればこの何倍にもなる。学校教育施設の被害は、全壊、半壊等程度もあるが小学校65校、中学校28校であった。岩手の場合、この震災による学校管理下における児童生徒の逝去者はゼロであったが、残念なことに直前の親の引き取りや欠席で家にいた児童生徒37名が亡くなっている。会としては、この窮状に対処すべく、被災地区外の会員に呼びかけて集まった義援金が828口、3,918,800円であったが、会の基金を取り崩して180万円を加えた。更に望外の全国連合退職校長会本部をはじめ各県組織からの義援金30口、5,252,310円が追加されることになり一千万円を超える額となった。励ましを頂いた全連退の皆様の温情には心から感謝申し上げたい。配分に当たっては、現場で即活きて使えるよう工夫し、臨時会議で承認を得、10月には当初の送金を完了した。

3 「いわて教育の日」の推進

「いわて教育の日」は県条例で平成17年4月1日施行。毎年秋には「教育の日」の集いが持たれ、内容としては 1 教育表彰 2 児童生徒発表 3 講演となっている。条例請求の主体だった退職校長会は協賛団体「いわて教育の日推進協議会」の事務局を担当し集いを共催し、年2回の会報を発行。



「いわて教育の日」のつどい